

屋上緑化用の薄層化根鉢植木の簡単な作成技術

都市緑化をすすめる上で、屋上などに設置する人工地盤用の植木の生産は重要なポイントになります。人工地盤は、建物に荷重制限があるため、植栽に必要な用土を厚く敷くことができません。根鉢が薄く、軽い植木（薄層化根鉢植木）が必要です。

従来は、不織布ポットを地中に埋設し、薄層化根鉢植木を育成していましたが、多くの労力を要し、使い捨ての不織布ポットが必要でした。

そこで、地上に置いて育成できる省力的で省資源的な方法を開発しました。下の写真に示すように、春に、根鉢を薄く切断した植木を、枠や薄い鉢に植え付けて栽培管理すると、秋には薄層化根鉢植木が完成します。



コンクリートブロックと遮根シートを利用して地上設置型薄層化根鉢植木育成枠を作成



8カ月育成後のムクゲ根鉢の状況



既成のプラスチック製薄型ポットにムクゲの根鉢を薄くして植え付けた状態（4月）



掘り上げたムクゲ根鉢。根が適度に伸びて鉢が崩れない（11月）

（森林・緑化研究所 森林・緑化担当 TEL 048-536-0347）

